

第24回委員会（9/5開催）以降に猪名川部会に提出された委員からの意見

本多委員

整備シートについての猪名川部会の立場から住民参加を中心としての意見

猪名川部会の立場から猪名川に関連する整備シート(2003.09.16版から)について住民参加の意見を提出する。

1. 計画

整備シート計画 - 1 河川レンジャー

河川レンジャーについては試行されようとしていますが、まず下記の点について課題整理と整備が必要と思われます。

1. 河川ごとの特性や人脈など違いがあることから、猪名川では猪名川流の河川レンジャーのあり方について早急に検討を実施する。
2. 検討に当たっては、宇治川周辺河川レンジャー検討懇話会の取り組みのように検討会を設け、公募委員制度の導入、検討会公開、傍聴発言(流域委員会を参考にして)の可能な開かれた検討を進める。
3. 河川整備計画におけるどの部分を担う役割か？。河川レンジャーの目的の明確化。河川整備計画における位置づけ。
4. その中で河川レンジャーの活動は何か？。
5. 河川レンジャーと河川管理者との関係は何か？。任命、登録、委託、委嘱、採用・・・何か。ボランティアか、雇用関係か。河川整備計画シートからの抽出、検討をおこなう。(後に各河川整備シートの中で河川レンジャーのかかわりがあればよいと考えられるものについては、その整備シートのところで論じる。)
6. 河川レンジャー像は何か？。河川レンジャーは、この河川整備計画の枠組みの中の活動であることを理解しているのか。河川整備計画による位置づけなど、お願いする人には、事前に枠組みの理解などの研修・教育が必要ではないか。教育・研修・フォローアップ制度・システムの確立。任命するものはこの研修教育を終了していることが前提。また、どんな能力を持った人が必要か。
7. 活動の仕組みは？。活動の範囲、地域、内容は何か。個人の活動と河川レンジャーとしての活動の区別は？。
8. 河川レンジャーと河川管理者のパートナーシップのあり方は？。河川整備計画の中での河川レンジャーの役割と責務、河川管理者の河川レンジャーへの支援や協働のあり方。物的、金銭的、理論・知識的、運営的、活動の場の提供・・・の検討。
9. 活動の評価の仕組み
10. 活動継続、任命制度??の任期、継続、罷免・・・などの規約・規程の作成。

- 1 1 . 新しい河川レンジャーの育成の仕組み、養成制度。活動に参画する仕組み、フォローアップのシステム構築。そのような人材育成のカリキュラムのあり方。レンジャー連絡会などの情報交換の組織とその組織との河川管理者との連携の仕組みなど。
- 1 2 . レンジャー制度の仕組みを検討することが肝心ではないかと思われる。

計画シートに追加が必要ではないかと思われるもの

住民対話集会をおこなうことが、整備計画基礎原案に書かれている。そして、現実に住民対話集会が、開かれつつある。しかし、その取り組み方について整備シートにない。

提言の趣旨に沿って、整備シートを作りたい。

開き方について、

- 1 . さまざまな地域で開催する。
- 2 . ひとつの地域についても複数実施する。
- 3 . 重要と思われるテーマで行い、複数のテーマを持つ。たとえばダム、河川敷利用。
- 4 . ひとつのテーマについても複数回実施する。
- 5 . 議論だけでなく、現場での河川整備についての河川管理者の考え方、必要性・有効性などについての見学、体験、分かち合いなども取り組み、さらには意見対立する住民間のコミュニケーションの円滑化を図るための住民交流なども検討する。住民参加の提言の趣旨を実行していく基本的な現時点での取り組み方策をシートにまとめ提示す。
- 6 . 取り組みについては、初めてのことであり、1回1回の取り組みを評価し、次回の改善をおこなうことも明記する。
- 7 . 情報提供の方法、取り組みの宣伝・普及、ファシリテーターの継続的確保の取り組み方などをシートに1稿として発展する可能性を示唆した上で、現時点の考えをまとめる。

2 . 環境

環境 - 1 4 横断方向河川形状の修復の検討

- 1 . 横断形状の修復について、住民参加のワークショップによる取り組みだけでなく、その後修復した環境や設置されたワンドなどでの環境教育や自然体験のプログラム作成、実施リーダーの養成、河川レンジャーのかかわりや連携できることはないか、環境教育や自然とのふれあい行事の企画、実施の継続性を維持する仕組みの検討もおこなうこと。
- 2 . ハード整備(形状修復)だけで終わらない住民参加の場作り、継続したかかわりのできるソフトや仕組み、人材育成の検討を追加記述ください。
- 3 . 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常に住民への情報提供・参加を促せるようにマド口を開けた取り組みを心がけてください。また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。

環境 - 1 5 横断方向河川形状の修復の検討

環境 - 2 3 縦断方向河川形状の修復の検討

環境 - 2 5 縦断方向河川形状の修復の検討 共通

1. 横断(縦断)形状の修復について、その後修復した環境などでの環境教育や自然体験のプログラム作成、実施リーダーの養成、河川レンジャーのかかわりや連携できることはないか、環境教育や自然とのふれあい行事の企画、実施の継続性を維持する仕組みの検討もおこなうこと。
2. ハード整備(形状修復)だけで終わらない住民参加の場作り、継続したかかわりのできるソフトや仕組み、人材育成の検討を追加記述ください。
3. 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常に住民への情報提供・参加を促せるようにマド口を開けた取り組みを心がけてください。また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。

環境 - 3 2 ダム・堰運用による推移変動、攪乱の増大の検討

1. モニタリングへの住民参加の検討。
2. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)

環境 - 3 3 確保可能な水量を掌握するために必要な諸調査の実施

1. モニタリングへの住民参加の検討。
2. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)
3. 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常に住民への情報提供・参加を促せるようにマド口を開けた取り組みを心がけてください。また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。

環境 - 3 8 水質管理協議会の検討

1. 新協議会には、住民部会を設置しその代表が全体協議会に参加するようにし、住民部会は幅広い住民多数と学識経験を持つアドバイザーで構成し、住民にできるアクションプログラムを作るだけでなく、作成後は、その住民部会が、アクションプログラム推進・普及の中心をにない作成後の取り組みも検討する。
2. 河川レンジャーがこのアクションプログラム普及・推進で果たせる役割があるか検討する。(環境教育などで)

環境 - 5 5 生息・生育環境の保全と再生の検討

環境 - 5 6 生息・生育環境の保全と再生の検討

環境 - 5 7 生息・生育環境の保全と再生の検討

環境 - 5 8 支川や水路を含めた構造の改善などに向けた関係機関との連携 共通

1. 住民参加のワークショップ形式での取り組みの検討。
2. ハード整備(形状修復)だけで終わらない住民参加の場作り、継続したかかわりのできるソフトや仕組み、人材育成の検討を追加記述ください。
3. 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常

に住民への情報提供・参加を促せるようにマド口を開けた取り組みを心がけてください。
また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。

4. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)

3. 治水

治水 - 1 水害に強い地域づくり協議会

1. 自分で守る部会は、住民参加を主体に住民への普及啓発も含めたアクションプログラムも検討し、この部会は検討する部会だけでなく検討後は、その推進・普及を主体的におこなう活動団体に発展していくことも展望し、後のフォローアップ体制も検討する。このことにより、常に住民が災害についての危機意識を持てるようにしていく。
2. 今後の普及・推進において河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。

治水 - 2 自分で守る

治水 - 3 皆で守る

治水 - 3 地域で守る

治水 - 3 8 津波ソフト対策 共通

1. 今後の普及・啓発・推進において河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。

4. 利水

利水 - 4 湯水対策協議会

1. 住民部会を設け、住民参加を主体に住民への普及啓発も含めたアクションプログラムも検討し、この部会は検討する部会だけでなく検討後は、その推進・普及を主体的におこなう活動団体に発展していくことも展望し、後のフォローアップ体制も検討する。このことにより、常に住民が節水についての危機意識を持てるようにしていくとともに水を大切に、節水するライフスタイルに転換していく活動をおこなう。
2. 今後の普及・推進において河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。

5. 利用

利用 - 6 河川保全利用委員会

1. 住民対話集会の役割を位置づけてください。
2. 将来ランドなどの利用を縮小するに当たって、環境教育や川を元に戻すことの意味を現場のフィールドワークから理解していただけるような取り組みに河川レンジャーが果

たせる役割があるか、連携できることがあるか検討する。

利用 - 9 迷惑行為対策

1. 住民への啓発、看板・印刷物内容の作成、出前講座など、河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

6. 維持管理

維持 - 3 住民と連携した維持管理

1. 猪名川バージョンのこの維持管理シートがない。作成を希望する。
2. 住民と連携した維持管理管理活動においてコーディネーター、ゴミ減らしの市民への啓発など、河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

維持 - 5 歴史・文化価値のある施設の保全

1. 整備効果による3つの点について、河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

維持 - 12 樹木の伐採管理

1. 住民意見の聴取や環境への影響などのモニタリングなど河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

維持 - 14 安全のための対応

維持 - 15 安全のための対応 共通

1. 身障者団体などの意見を聞いて、意見を反映させる。
その際に河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

維持 - 17 安全のための対応 水難事故防止協議会

1. 水難事故防止の取り組みの中で河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。パンフレットの作成・普及、出前講座。安全教育をした上での川遊びの指導。

維持 - 19 河川環境保全のための指導。

1. 河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

7. ダム

ダム - 1 生息・生育実態を定期的に調査

1. 住民参加による調査項目の設定の検討と住民参加による調査を検討する。
調査や住民とのコーディネート、調査のまとめと情報発信など河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

ダム - 2 2 余野川ダム

- 1 . ダムについては、住民意見の聴取を社会的合意形成の重要なものと位置づけ、その取り組み回数、方法(円卓会議形式、ワークショップ形式、現地視察形式など)、開催場所など、積極的取り組みについて、整備シートに記載してほしい。
 - 2 . 環境影響などについては、住民などにも積極的に情報提供を求め、住民参加の機会を増やすことを検討する。
- 氾濫源対策については、住民とともに考え、その普及や推進について、協働して進めていけるフォローアップの体制を検討する。また、これらの普及推進、住民参加について河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

ダム - 2 3 環境等の諸調査(余野川ダム)

- 1 . 動植物・生息・生育の補足環境調査におけるモニタリングなどにおいて、住民参加によってできること、そのほうが効果があるもの、専門家による調査が有効なものなど検討し、住民参加による調査の取り組みを広げる検討をおこなう。
- 2 . 活動拠点・自然環境の価値などは住民参加により検討をおこなう。
- 3 . これらの取り組みに河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。

8 . 河川公園

- 1 . 河川公園での自然とのふれあい、環境教育など河川レンジャーのできること、活動の場、公園管理者との連携・協働の仕組みなど「国営讃岐まんのう公園のインタープリター」の制度なども参考にしながら、検討してみる。